

もっと安心農産物 こかぶ栽培暦 (冬どり栽培)

J Aいちかわ船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(1,500kg)

2. 施肥 土壌診断にもとずく施肥量の遵守 (化成肥料由来の窒素成分量9kg/10a以内)

	肥料名	保証成分 (%)	施肥量上限
基 肥	スーパーマイルド086	10-8-6 (有機態窒素6.1)	200kg/10a
	有機アグレット673	6-7-3 (有機態窒素6)	100kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0 苦土4.5	20kg/10a
	苦土セルカ2号 (有機石灰)	60kg/10a	

有機アグレット673は、スーパーマイルド086で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 農薬使用成分回数は合計**3**回までです。(エスマルクDF・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含まれない)

(薬剤名後()内数字は、化学合成農薬の成分数を示す。)

月	管理作業	病害虫の発生	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)			
11月	↑ 播種	アブラムシ	D-D (1)	20% / 10a	ネグサレセンチュウ 根こぶ病 萎黄病	品種：白涼・白鷹 ゆきわらし 防虫ネットでトンネル被覆する。その際破れ等ない物を使用する。 白さび病の防除にはランマンフロアブル2,000倍(収穫3日前3回)を散布する。 ハマグラミガの防除は、発生初期にエスマルクDF(0)1,000倍(前日迄)を散布する。 収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす。			
中旬			バアミド 微粒剤 (1)	30kg/10a					
下旬			ディ・トラパックス油剤 (2) のいずれかを使用する	30% / 10a					
12月	↑ ↓		アブラムシ						
中旬				フォース粒剤 (1)	4kg/10a 播種時1回		キスジノミハムシ		
下旬				ユニフォーム粒剤 (2)	9kg/10a 播種時全面土壌混和		白さび病		
1月				↑ ↓	アブラムシ		モスピラン顆粒水溶剤 (1)	2,000倍 (収穫21日前1回)	アブラムシ類
中旬							ハチハチ乳剤 (1)	2,000倍 (収穫7日前1回)	キスジノミハムシ コナガ
下旬							ランネット 45DF (1)	1,000倍 (収穫7日前2回以内)	アオムシ アブラムシ
2月	↓ 収穫		ナモグリハエ	アフアーム乳剤 (1)	2,000倍 (収穫3日前2回)		コナガ		
中旬		アバリアアブル5 (1)		2,000倍 (収穫前日3回)	コナガ				
下旬		スピノエース顆粒水和剤 (0)		5,000倍 (収穫前日3回)	ハモグリハエ				
3月		アルバリン顆粒水溶剤 (1)		2,000倍 (収穫3日前2回)	アブラムシ類 キジノミハムシ				
中旬									
下旬									

☆みんなで守ろう生産基準